

# 第4次活動計画の 具体的な取り組み

課題解決に向けて、具体的に取り組む活動です(★印は重点的な取り組み)

## 1 「福祉専門職と地区とのつながりづくり」

施設や相談機関等の職員が持つ福祉の専門知識によって、住民が主体的に行う地域福祉活動が支えられるよう、福祉専門職と地区とのつながりづくりを進めるとともに、専門職への地域理解等の場づくりを支援していきます。



## 2 「ミニデイ・サロンの開催推進」★

障害児者や高齢者などをはじめ、地域の誰もが参加できる身近な交流の場として、ミニデイ・サロンの開催を継続的に支援します。

現在、日中に開催しているサロンがほとんどで、参加対象者にも制限があるのが現状です。

利用しやすい、さまざまなニーズに合った多彩なミニデイ・サロンの開催に向け、開催時間の延長など活動の広がりを重点的に支援するとともに、子育てサロンが多くある地区で開催促進されるよう支援します。

また、活動者の高齢化、恒常化を改善するため、ミニデイ・サロンの広報や、新たな活動者の発掘を支援します。

## 3 「地区の福祉マップ作成の取り組み」

地区をエリアとした福祉マップづくりを通して、各地区で自分たちの暮らしに役立つ社会資源の存在を知ったり、足りない部分を知り、必要なものを考える機会を持つことができます。

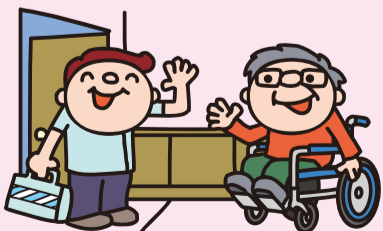
また、福祉マップづくりの過程の中で、関係機関、団体、住民とのつながりを深め、身近にある福祉課題や支援を必要とする人たちの暮らしについて考えるネットワークづくりを推進します。



## 4 地区ボランティアセンター活動の推進★

地区にあるニーズと支援をつなぐ拠点、人や情報の交流の拠点として、地区ボランティアセンターの設置を進めてきました。引き続き、安心して暮らし続けられる仕組みの1つとしての拠点:地区ボランティアセンターが全地区に整うよう取り組みます。

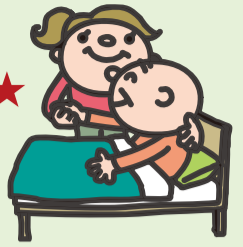
また、既存の地区ボランティアセンターについては、これまで続けてきた活動をふまえて、各地区での福祉活動の拠点としてより幅広い活用が図られることや、身近な相談窓口としての機能拡充に向け、支援を強化します。



## 5 「困りごとを見過ごさない 相談支援体制づくり」★

誰もが、必要とする支援を上手に活用しながら、安心して暮らすことができるには、様々な制度にもとづくサービスや、各地区を基盤とした住民による福祉活動などがつながりあって、一人ひとりの暮らしを見守り・支える仕組みが必要になります。

一人ひとりの困りごとを見過ごさず、支えあえる網目の細やかなネットワークが地区を基盤としてできるよう、茅ヶ崎市が策定した「第2期茅ヶ崎市地域福祉計画」に掲げられている「コーディネーター配置事業」とのかかわりをもって取り組みを進めます。



## 6 「必要な情報が必要な人に届く仕組みづくり」

福祉に関わる情報も、広報、ホームページなど、提供の機会や手段も工夫されてきていますが、情報整理が充分ではないことや、障害の特性により、得にくい状況があります。相談や活動参加の入口となる情報が、必要な人に届くための仕組みづくりを行います。

## 7 「福祉について理解啓発を図る 講座やイベントの開催」

誰もが「福祉」を身近に感じ、関わりのあるものとして理解を深められるよう、啓発イベントや公開講座などを、関係機関や団体と連携して開催します。



## 8 「福祉教育プログラムの充実」

学校の総合学習で取り入れることを想定して作成した「福祉教育プログラム集」を広く周知するとともに、定期的に見直し、よりよいプログラムの作成に取り組みます。

また、地域・企業向けの福祉教育プログラムの作成を進めます。

## 9 「地域みんなで子育てを支える場づくり」★

核家族化や近隣関係の希薄化により、子育て環境は変わってきています。市内の子ども・子育て関連の団体・機関にヒアリングを行ったところ、子どもの発達の問題から、家庭の養育力、虐待、地域からの孤立など様々な課題が挙がりました。

その中でまず地域でできることは、子育てに対する理解を進めることと捉え、交流の場の設置や協力者の育成等を行います。



## 10 「外出や移動を支える取り組み」

誰もが安心して住み続けられるためには、障害のある人や高齢者などの外出・移動・送迎支援が必要です。

学校送迎や、サービス利用(日中一時・ショートステイ)にかかる送迎など、市社協だけでは担いきれない移動ニーズも多くあります。移動支援に関する情報の収集、周知を図るとともに、移動ニーズの実情について発信し、対応の必要性や協力を呼びかけていきます。

また、把握したニーズを整理し、地域・社協・関係機関・行政などの役割分担を考えていきます。

